

# あさがお

広報紙『あさがお』第3号 平成30年7月1日発行  
 社会福祉法人 名張厚生協会 名張養護学園  
 〒518-0721 三重県名張市朝日町 1263-3  
 Tel.0595-63-0717 Fax0595-63-0721

## 「フレッシュ職員紹介」

4月に新任職員を5名迎え、3か月が経ちました。

フレッシュな新風を学園に吹き込み、日々子ども達への支援に奮闘しています。

施設や児童相談所での実習を経験し、「子どもの事、子どもの心に秘めた思いにもっと寄り沿いたい」思いが、職員を志す動機となった方々です。

子どもたちから信頼され、共に住まうことが自然な関係を目指して奮闘中です。

左から 宮田良平 (FH 名張)、野村明希 (児家セン「あかり」)、中村 琴 (小規模「若葉」)、東 実加 (本園ユニット) 中川 駿 (本園ユニット)

よろしくお願ひします！



## 巻頭言

施設長

山口 伴尚



現在の入所児童数

本園 27名  
 /定員 30名  
 地域小規模「若葉」  
 4名  
 /定員 6名

梅雨も後半に入り、山々の緑がいつそう濃さを増してきました。

今、ロシアで開催されているサッカーの世界カップでは、悲喜こもごものドラマが繰り広げられています。世界一流の選手が、国の名誉を賭け、ひたむきにプレーする姿は、人々の胸を打ち、大きな感動を呼んでいます。日本は、直前の監督交代など厳しい状態で臨んだ大会でしたが、名張出身の山口蛍君をはじめ選手たちはピッチで躍動し、見事に決勝トーナメントに進出しました。「チームの力」を証明し、感動を与えてくれた選手たちに改めて感謝したいと思います。

さて、学園の幾島職員が昨年秋、海野職員が本年春にそれぞれ瑞宝単光章を受章しました。一つの施設で連続して叙勲されることは、大変まれなことですが、長年の献身的な努力を評価していただいたものと思います。学園の歴史を築いてきた二人の栄誉はいうまでもありませんが、学園としても大変名誉なことであり、関係者の皆様に心から感謝申し上げます。このことを励みに、職員一同さらに精進を重ね、「チームの力」を高めていきたいと決意を新たにしています。

## ユニット便り

### 『いちご狩り』

にじユニット

5月26日(土)



### 『冒険の森 in やまぞえ』

あおぞらユニット

6月2日(土)



## ほっとニュース

### 『第1回将棋大会』

6月10日(日)

地域交流スペース

「待った」なしの真剣勝負！



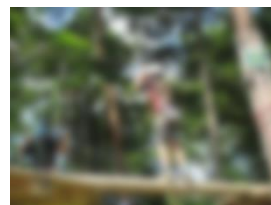
いちご狩りシーズン最後となる5月末、市内青蓮寺にあるいちご園に行ってきました。快晴に恵まれた当日は、ユニットの生活体験事業の一環で、昼食もファミリーレストランでの外食と、食を満喫する一日となりました。

ビニールハウス内の暑さが懸念されましたが、快適な温度調整のもと、ハウス内を子どもたちは所狭しと、赤く大きく育ったいちごを求めて歩き回りました。どのいちごも甘く、『何個でも食べられる!(^^)!』と、摘んでは口への動作を繰り返していました。



あおぞらユニットは屋外アスレチック場へ！ヘルメットに命綱と重装備を施し、木の上に設置された丸太や、吊り橋、ジップスライドと本格的過ぎるアクティビティに挑戦してきました。開始直後は高さにビビリ足を震わせ腰が引けていましたが、途中からは楽しさが勝り、何度も繰り返し挑戦していました。

その後、近くのわんぱく動物園へ移動し、羊の毛刈りも体験させてもらってきました。普段はなかなか経験できないことの連続に興奮しっぱなしの一日でした。



将棋好きの職員の手ほどきを受け、子ども達は日頃から将棋を楽しんでいます。昨年は同法人の老人施設利用者さんと交流戦を実施しましたが、今年度は、新たに発足した職員の将棋サークルとのコラボレーション企画として、1回目の将棋大会開催となりました。

当日は9名の児童と2名の職員が参加し、トーナメント戦で対局を行いました。当然、職員は「飛車」「角」抜き、場合によっては「桂馬」「金」も抜きでの対局で、力をつけてきている子どもにあっさり負けてしまう場面もありました。優勝を目指しての真剣勝負が、どの対局でも繰り広げられていただけに、勝った時の喜びと、負けた時の落胆の差は天と地ほどの違いがありました。終了後から次回開催を望む子どもたちの声が多く聞かれました。

## 恒例行事

### 『進級を祝う会』

#### みんなで BBQ

4月14日(土)

新学期を迎え、一年の抱負をみんなの前で宣言します。



春の陽気に包まれたこの日、毎年恒例の行事として行われている『進級を祝う会』を行いました。昼御飯に合わせ、園庭にBBQコンロや長机を職員と子どもが一緒になって準備。男の子は火おこしに興味津々、早くから「まだ火付けやんの？」と職員をせかす声が響きました。たっぷり用意したお肉にウィンナー・野菜でしたが、香ばしいにおいと焼き上がりを待ちわびた状況が、一気に食欲を加速させ、あっという間に網の上の肉がなくなっていきました。他にも焼きそば・焼きおにぎりを準備しましたが、どれも余すことなくみんな頂きました。

食後はこの一年の自分の目標をみんなの前で一人ひとり発表しました。年長児童は「進学に備え勉強を頑張る」、進級した児童は「新しい環境に早く慣れていきたい」や「クラブを頑張る」といった決意を聞くことができました。



## 地域交流

### 『手形オリジナル

#### うちわ作り』

6月9日(土)

名張市武道交流館

『いきいき』



学園里親支援専門相談員と児童家庭支援センター「あかり」との合同事業『うちわ作り』を開催しました。伊賀管内の里親家庭を対象に、里親家庭の皆さんの交流、親睦を深める機会となりました。

当日は7家庭に参加いただき、大人6名・子ども15名・スタッフ5名で手作りうちわに挑戦しました。



型紙に子どもたちが考えたデザインを、絵具や飾りを用いて描いていきました。自分の手形を押したり、折り紙やキラキラシールでデコったりと涼しげな金魚や風鈴の絵が完成していきました。



子ども達が自分の力だけではできない部分を、周囲の大人が手伝い、助言する中で一つの物を完成していく工程や、出来上がりを見せ合い誉めあう親子の姿に微笑ましさを感じるひと時でした。



## 地域の身近な 相談窓口

児童家庭支援センター

「あかり」

でんわ (0595)

42-8331

子育てのこと、  
家庭のこと・・・

- 一人で悩まないで  
一緒に考えて  
いきませんか

※4月1日より「あかり」に名称を変更しました。

たくさんのご支援・ご寄附・ご寄贈

ありがとうございました♪

《個人》

波多野みち子 小谷 堀内茂 欠田長平 石原孝二郎  
谷口由希子 匿名

《団体》

キング観光 平成観光 ショクブン  
NPO スリーハート

※平成30年4月1日～6月30日

順不同・敬称は省略させていただいております。

### = 法人の理念 =

社会福祉法人 名張厚生協会は「人としての尊厳」を尊重し、事業を利用する方々が、社会的・経済的・精神的に「自立した生活をおくること」、社会の一員として「より人間らしく豊かに生きること」、そして「生きがいをもって生きること」ができるよう、法人が築き上げてきた知識、技術、倫理、社会性を発揮し支援します。また、安心で適切な福祉サービスの提供と効率的な経営を行い、地域福祉の向上に貢献します。

### = 名張養護学園の理念 =

「すべての人を尊重し、  
児童の最善の利益を守り、  
より積極的に支える」

### = 基本目標 =

未来に羽ばたく夢と力を育む  
笑顔あふれる暮らし



### 編集後記

ワールドカップ深夜視聴により、やや寝不足気味の毎日です。旬な言葉で時事を表すと、「関東甲信越地方の梅雨明け早すぎ半端ないって。」「連日気温が30度超え半端ないって」といったところでしょうか。いい意味での半端ないを増やせる毎日していきたいですね。